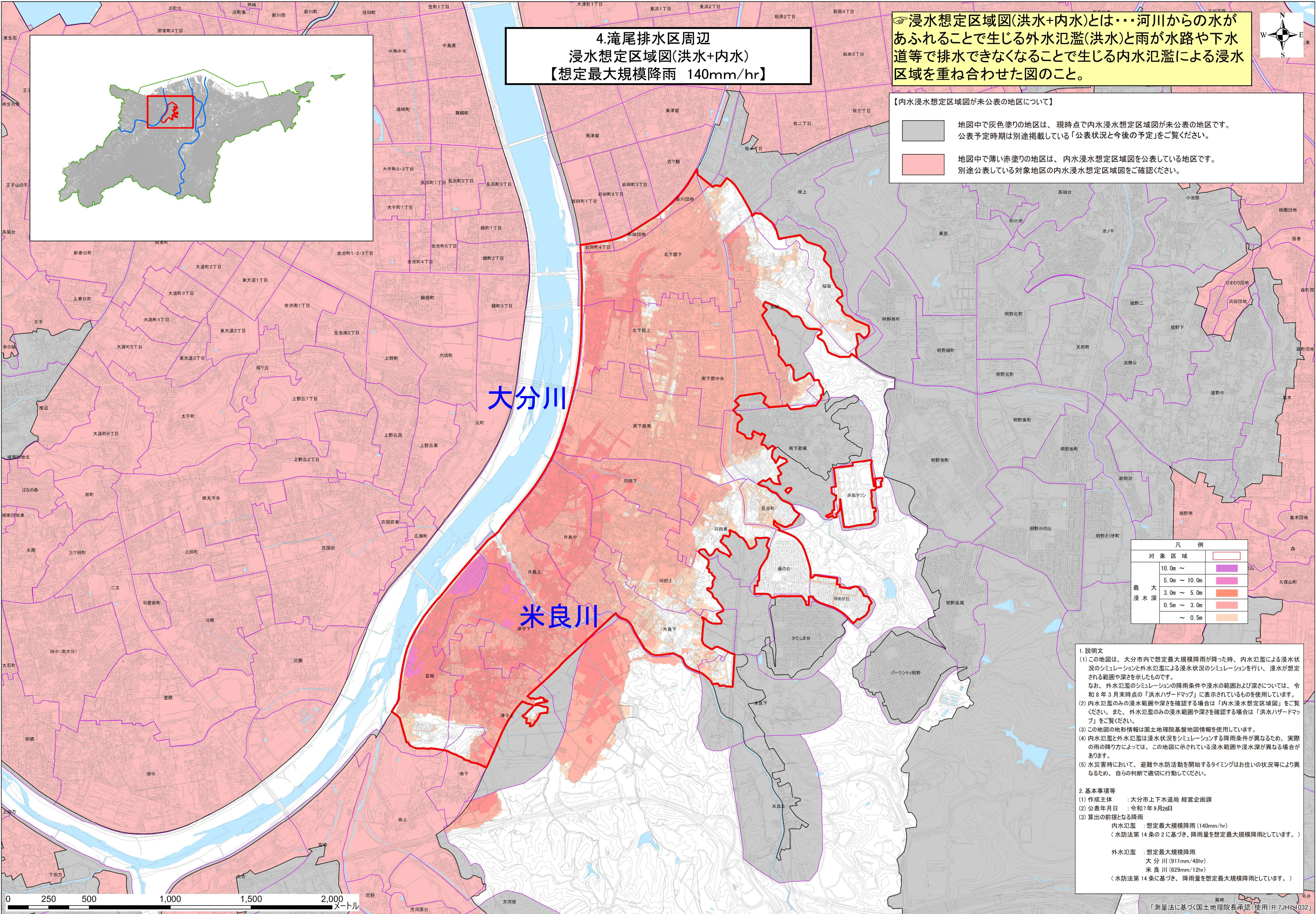




4.滝尾排水区周辺
浸水想定区域図(洪水+内水)
【想定最大規模降雨 140mm/hr】

👉 浸水想定区域図(洪水+内水)とは・・・河川からの水があふれることで生じる外水氾濫(洪水)と雨が水路や下水道等で排水できなくなることで生じる内水氾濫による浸水区域を重ね合わせた図のこと。

【内水浸水想定区域図が未公表の地区について】

地図中で灰色塗りの地区は、現時点で内水浸水想定区域図が未公表の地区です。公表予定時期は別途掲載している「公表状況と今後の予定」をご覧ください。

地図中で薄い赤塗りの地区は、内水浸水想定区域図を公表している地区です。別途公表している対象地区の内水浸水想定区域図をご確認ください。

凡 例		
対 象 区 域		
最 大 浸 水 深	10.0m ～	山
	5.0m ～ 10.0m	
	3.0m ～ 5.0m	
	0.5m ～ 3.0m	
	～ 0.5m	

1. 説明文
(1) この地図は、大分市内で想定最大規模降雨が降った時、内水氾濫による浸水状況のシミュレーションと外水氾濫による浸水状況のシミュレーションを行い、浸水が想定される範囲や深さを示したものです。
なお、外水氾濫のシミュレーションの降雨条件や浸水の範囲および深さについては、令和8年3月末時点の「洪水ハザードマップ」に表示されているものを使用しています。
(2) 内水氾濫のみの浸水範囲や深さを確認する場合は「内水浸水想定区域図」をご覧ください。また、外水氾濫のみの浸水範囲や深さを確認する場合は「洪水ハザードマップ」をご覧ください。
(3) この地図の地形情報は国土地理院基盤地図情報を使用しています。
(4) 内水氾濫と外水氾濫は浸水状況をシミュレーションする降雨条件が異なるため、実際の雨の降り方によっては、この地図に示されている浸水範囲や浸水深が異なる場合があります。
(5) 水災害時において、避難や水防活動を開始するタイミングはお住いの状況等により異なるため、自らの判断で適切に行動してください。

2. 基本事項等
(1) 作成主体 : 大分市上下水道局 経営企画課
(2) 公表年月日 : 令和7年9月26日
(3) 算出の前掲となる降雨
内水氾濫 : 想定最大規模降雨(140mm/hr)
(水防法第14条の2に基づき、降雨量を想定最大規模降雨としています。)
外水氾濫 : 想定最大規模降雨
大分川(911mm/48hr)
米良川(629mm/12hr)
(水防法第14条に基づき、降雨量を想定最大規模降雨としています。)

